

2019年度

編入学試験 学生募集要項

工学部

メディア画像学科
生命環境化学科
建築学科
コンピュータ応用学科
電子機械学科

建学の精神

東京工芸大学は、創始者 六代 杉浦六右衛門氏の遺志を後継した七代 杉浦六右衛門により創立された小西寫眞専門学校（大正12年創立）を前身としています。小西寫眞専門学校の建学の精神は次のとおりです。

「時勢ノ必要ニ應ズベキ寫眞術ノ實技家及研究者ヲ養成シ併セテ一般社會ニ於ケル寫眞術ノ向上發達ヲ圖ル」

東京工芸大学の基本理念

社会に有為な職業人の養成を目指し、確かな基礎教養の上に、先端のテクノロジーやメディアを用いて社会の発展のために活躍する実践的人材と、工学と芸術学の知識・技術と表現を結び合わせた新しい分野の創成に貢献する創造的人材を育成する。

大学のアドミッション・ポリシー

東京工芸大学は建学の精神に基づき、「社会に有為な職業人の養成を目指し、確かな基礎教養の上に、先端のテクノロジーやメディアを用いて社会の発展のために活躍する実践的人材と、工学と芸術学の知識・技術と表現を結び合わせた新しい分野の創成に貢献する創造的人材を育成する。」との基本理念を掲げ、優れた教育・研究実績を有する教職員の下、常に時代をリードするカリキュラムを用意し、また、最先端の研究・教育施設を完備し、特色ある授業を行っています。

東京工芸大学は、上記の基本理念に共感し、以下の志のある学生を受け入れます。

1. 教育研究環境を活用し、徹底して学ぶことによって成長を遂げようとする意欲のある人
2. 新しい分野の創成に努め、その成果を日本・世界に発信していく力をつける開拓心のある人

工学部のアドミッション・ポリシー

工学部は建学の精神を受けて写真・印刷技術の教育研究から出発し、現在ではその伝統を受け継ぐメディア画像学に、生命環境化学、建築学、コンピュータ応用学、電子機械学が加わり、広く人間の生命や生活を取り巻く環境分野へと発展しています。工学部は幅広い視野と教養を持ち、人と自然環境との調和・共生を科学する豊かな感性を備え、科学技術をもって明るい未来社会の構築に貢献しようとする使命感と専門知識を有する創造性豊かな技術者を養成し、社会へ有為な人材を送り出すことを目標としています。工学部では各学科が定める出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。受け入れるにあたり、志願者には各学科が求める学力等を身に付けていることが求められ、学力試験、調査書、および面接試験によりこれを確認します。

1. メディア画像学、生命環境化学、建築学、コンピュータ応用学、電子機械学のいずれかの分野について専門分野の知識を社会・自然との関わりも含めて体系的に身に付けたい人。
2. メディア画像学、生命環境化学、建築学、コンピュータ応用学、電子機械学のいずれかの分野について専門分野の技術を身に付けたい人。
3. メディア画像学、生命環境化学、建築学、コンピュータ応用学、電子機械学のいずれかの分野で修めた知識、技術を活かすための健全な倫理観を備え、意欲と使命感をもって明るい未来社会の構築に貢献することを目指す人。
4. 工学分野について基礎的な知識、技術を備え、時代が求める工学と感性を融合した新しい分野創成に必要な創造性と実践力を身に付けたい人。
5. 専門分野、工学分野の知識、技術を活かすための後盾となる基礎教養として、人と自然環境との調和を科学する心、人間社会や芸術表現に関する幅広い視野と教養、豊かな感性、および健全な倫理観を身に付けたい人。

学科のアドミッション・ポリシー

メディア画像学科

メディア画像学科は情報伝達において、もっとも有効な画像情報とそれを伝えるメディア（媒体）を活用するために必要な学問や技術を修得し、高度な情報通信社会の発展に貢献できる人材を育成する学科です。メディア画像学科では、近年の情報機器やネットワークの普及を踏まえ、伝統的な写真・印刷技術から、コンピュータを駆使した画像生成、処理手法やこれらを表示するためのディスプレイ装置の開発などの最新技術にいたるまで、メディア画像技術の関わる幅広い学問分野について、ハードウェア・ソフトウェアの両面にわたって教授研究し、時代の要請するメディア画像技術を修得した人材を送り出すことを目標としています。メディア画像学科では定められた出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。受け入れるにあたり、志願者は、数学（数学Ⅰ、および「数学Ⅱ、数学A、数学B」のうち1科目以上）、理科（「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学」のうち2科目以上）を身に付けていることが望ましく、学力試験、調査書、および面接試験によりこれを確認します。

1. メディア画像学のCG・映像情報あるいは画像科学の分野について専門分野の知識を社会・自然との関わりも含めて体系的に身に付けたい人。
2. メディア画像学のCG・映像情報あるいは画像科学の分野について専門分野の技術を有し、さらに数量的スキルと情報リテラシーを活用し、論理的思考をもって課題を分析し、他者と議論するコミュニケーション・スキルと技能を身に付けたい人。
3. メディア画像学のCG・映像情報あるいは画像科学の分野で修めた知識、技術を活かして、メディア社会発展のために、自らを律しつつ他者と協調・協働し、健全な倫理観に従って行動する態度・志向を備え、意欲と使命感をもって明るい未来社会の構築に貢献することを旨とする人。
4. 工学分野について基礎的な知識、技術を備え、時代が求める工学と感性を融合した新しい分野創成に必要な創造性と実践力を身に付けたい人。
5. 専門分野、工学分野の知識、技術を活かすための後ろ盾となる基礎教養として、人と自然環境との調和を科学する心、人間社会や芸術表現に関する幅広い視野と教養、豊かな感性、および健全な倫理観を身に付けたい人。

生命環境化学科

生命環境化学科は原子・分子レベルから考える化学に立脚した「生命を守り」「環境を守る」学問や技術を修得し、それらを生命・環境の美しい未来を創造するために活かすこと、また社会においてそのような活動ができる人材を育成する学科です。生命環境化学科では近年の化学の発展や社会的要請を踏まえ、ナノ化学の分野から生命・環境・先端材料の各分野への具体的な展開を教授研究し、生命環境と社会との関わり、技術者に必要な法規や関連資格取得などの実務能力を修得した人材を養成することを目標としています。生命環境化学科では定められた出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。受け入れるにあたり、志願者は、数学（数学Ⅰ、および「数学Ⅱ、数学A、数学B」のうち1科目以上）、理科（「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学」のうち2科目以上）を身に付けていることが望ましいとされ、学力試験、調査書、および面接試験によりこれを確認します。

1. 生命環境化学における生命・環境・先端材料（応用化学）のいずれかの分野について専門分野の知識を社会・自然との関わりも含めて体系的に身に付けたい人。
2. 生命環境化学における生命・環境・先端材料（応用化学）のいずれかの分野について専門分野の最新の技術、および必要な法規や社会的評価の高い関連資格修得などの実務能力を身に付けたい人。
3. 生命環境化学における生命・環境・先端材料（応用化学）のいずれかの分野について修めた知識、技術を活かすために化学者として健全で生命と環境を慈しむ倫理観を備え、意欲と使命感をもって化学の力で生命・環境の美しい未来を創造することを旨とする人。
4. 工学分野について基礎的な知識、技術を備え、時代が求める工学と感性を融合した新しい分野創成に必要な創造性と実践力を身に付けたい人。
5. 専門分野、工学分野の知識、技術を活かすための後ろ盾となる基礎教養として、人と自然環境との調和を科学する心、人間社会や芸術表現に関する幅広い視野と教養、豊かな感性、および健全な倫理観を身に付けたい人。

建築学科

建築学科は、高度で専門的な建築に関する技術と、その基礎となる自然科学、人文科学、社会科学、芸術等に関する幅広い知識と教養を有し、安全で心地よく住まえる空間をもった建築を実現できる人材を育成する学科です。建築学科では、機能性、快適性と美しさを高い次元で統合した建築を創造する建築デザイン分野、地震や災害に対する安全性を確保する建築構造分野、快適な環境を実現する建築環境分野で構成される総合的な建築学を教授研究し、高度な専門性と多様な社会的要求に応えられる総合力を修得した人材を養成することを目標としています。建築学科では定められた出願資格の要件を満たし、以下のすべての項目を修得したい人を受け入れます。受け入れるにあたり、志願者は、数学（数学Ⅰ、および「数学Ⅱ、数学A、数学B」のうち1科目以上）、理科（「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学」のうち2科目以上）、国語（国語総合）、外国語（コミュニケーション英語Ⅰ）を身に付けていることが望ましいとされ、学力試験、調査書、および面接試験によりこれを確認します。

1. 一級および二級建築士の資格を取得するために必要な、建築の計画、環境、構造、法規について基本的な知識を修得し、さらに建築学の計画、環境、構造のいずれかの分野についてスペシャリストとして社会で活動するための高度な専門分野の知識を社会・自然との関わりも含めて体系的に身に付けたい人。
2. 一級および二級建築士の資格を取得するために必要な、建築図面等を作成する技能を体得し、さらに建築学の計画、環境、構造のいずれかの分野についてスペシャリストとして社会で活動するための高度な専門分野の技術を身に付けたい人。
3. 建築学の計画、環境、構造のいずれかの分野について修めた知識、技術、問題解決能力をもって建築を創造するための、健全な倫理観と社会常識を備え、他者と協調・協働して行動し、意欲と使命感をもって明るい未来社会の構築に貢献することを旨とする人。
4. 工学分野について基礎的な知識、技術を備え、時代が求める工学と感性を融合した新しい分野創成に必要な創造性と実践力を身に付けたい人。
5. 専門分野、工学分野の知識、技術を活かすための後ろ盾となる基礎教養として、人と自然環境との調和を科学する心、人間社会や芸術表現に関する幅広い視野と教養、豊かな感性、および健全な倫理観を身に付けたい人。

コンピュータ応用学科

コンピュータ応用学科では、社会のあらゆる分野における必要不可欠な“ツール”であるコンピュータ利用の急速な拡大に応え、広い視野からコンピュータ応用手法を研究し、コンピュータの可能性を最大限に引き出す応用に重点を置いた新しいコンピュータ教育を行っています。コンピュータ応用学科はコンピュータに関する知識と共に、さまざまな課題の解決と新たな使命を果たすための総合力を修得し、コンピュータ応用技術のさらなる発展を支える人材を養成して社会へ送り出すことを目標としています。コンピュータ応用学科では定められた出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。受け入れるにあたり、志願者は、数学（数学Ⅰ、および「数学Ⅱ、数学A、数学B」のうち1科目以上）、理科（「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学」のうち2科目以上）を身に付けていることが望ましいとされ、学力試験、調査書、および面接試験によりこれを確認します。

1. コンピュータ応用学について、コンピュータを活用したシステムの設計・構築に関わる専門分野の知識を社会・自然との関わりも含めて体系的に身に付けたい人。
2. コンピュータ応用学について、コンピュータを活用したシステムの設計・構築に関わる専門分野の技術を身に付けたい人。
3. コンピュータ応用学について、コンピュータを活用したシステムの設計・構築に関わる知識、技術を活かすための健全な倫理観を備え、意欲と使命感をもって明るい未来社会の構築に貢献することを目指す人。
4. 工学分野について基礎的な知識、技術を備え、時代が求める工学と感性を融合した新しい分野創成に必要な創造性と実践力を身に付けたい人。
5. 専門分野、工学分野の知識、技術を活かすための後ろ盾となる基礎教養として、人と自然環境との調和を科学する心、人間社会や芸術表現に関する幅広い視野と教養、豊かな感性、および健全な倫理観を身に付けたい人。

電子機械学科

電子機械学科では、エレクトロニクスを個々の要素技術としてではなく、常に具体的な用途を持ったシステムの構成という観点からとらえ、構成技術の使われ方を明確にイメージしながら、工学のための基盤技術としてエレクトロニクスを学修するという点を特色とする新しい教育を実践しています。電子機械学科は電子機械などのものづくりに必要なエレクトロニクスとメカトロニクスの基礎技術と応用技術をハードウェアとソフトウェアの両面から教授研究し、幅広い視野と高度な専門性を修得した人材を養成し、社会へ有為な人材を送り出すことを目標としています。電子機械学科では定められた出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。受け入れるにあたり、志願者には数学（数学Ⅰ、および「数学Ⅱ、数学A、数学B」のうち1科目以上）、理科（「物理基礎、化学基礎、生物基礎、物理、化学、生物」のうち2科目以上）を身に付けていることが望ましいとされ、学力試験、調査書、および面接試験によりこれを確認します。

1. 電子機械学の複合化する“ものづくり”で必要とされるエレクトロニクス、メカトロニクス、コンピュータ利用技術に関する専門分野の知識を社会・自然との関わりも含めて体系的かつバランスよく身に付けたい人。
2. 電気機械学の電気および機械、CAD実習、マイコンによる機器制御実験やロボット製作などの実学を通じてエレクトロニクス、メカトロニクス、コンピュータ利用技術に関する専門分野の技術について実践的な応用力を身に付けたい人。
3. 電気機械学のエレクトロニクス、メカトロニクス分野で修めたハードウェア、ソフトウェアの両方を駆使したものづくりに粘り強く取り組むことができる知識、技術を活かすための健全な倫理観、観察力を備え、意欲と使命感をもって明るい未来社会の構築に貢献することを目指す人。
4. 工学分野について基礎的な知識、技術を備え、時代が求める工学と感性を融合した新しい分野創成に必要な創造性と実践力を身に付けたい人。
5. 専門分野、工学分野の知識、技術を活かすための後ろ盾となる基礎教養として、人と自然環境との調和を科学する心、人間社会や芸術表現に関する幅広い視野と教養、豊かな感性、および健全な倫理観を身に付けたい人。

募集人員

全学科「若干名」

- * 学科によって募集しない場合があります。詳細は以下の期日にホームページ上で発表します
- (Ⅰ期) 8月1日(水)
- (Ⅱ期) 10月1日(月)

出願資格

一般入試

次のa～gのいずれかの条件に該当する人

- a. 大学を卒業した人及び2019年3月卒業見込みの人
- b. 高等専門学校又は短期大学(部)を卒業した人及び2019年3月卒業見込みの人
- c. 専修学校の専門課程(修業年限2年以上、総授業時間数1,700時間以上に限る)を修了した人及び2019年3月修了見込みの人
- d. 本学以外の大学に2年以上(休学期間を除く)在学し、60単位以上修得した人及び2019年3月にこれに該当する見込みの人(3年次編入対象者)
- e. 本学以外の大学に1年以上(休学期間を除く)在学し、30単位以上修得した人及び2019年3月にこれに該当する見込みの人(2年次編入対象者)
- f. 外国において前各号と同程度の課程を修了した人及び2019年3月修了見込みの人で、本学が受験を許可した人
- g. その他法令により編入学を認められた人

推薦入試

次の①の条件に該当し、a～eのいずれかの条件に該当する人

- ① 大学、短期大学、高等専門学校または専修学校の専門課程在学中の成績が優秀で、学校長が推薦した人
- a. 大学、短期大学、高等専門学校または専修学校の専門課程(修業年限2年以上、授業時間数1,700時間以上に限る)を修了した人または2019年3月修了見込みの人
- b. 本学以外の大学に2年以上(休学期間を除く)在学し、60単位以上修得した人及び2019年3月にこれに該当する見込みの人(3年次編入対象者)
- c. 本学以外の大学に1年以上(休学期間を除く)在学し、30単位以上修得した人及び2019年3月にこれに該当する見込みの人(2年次編入対象者)
- d. 外国において前各号と同程度の課程を修了した人及び2019年3月修了見込みの人で、本学が受験を許可した人
- e. その他法令により編入学を認められた人

※ 本入試に合格し入学許可を受けた場合は、原則として入学は辞退できません

注: 一般、推薦、いずれの場合も、単位認定状況および選考結果により合格年次が変更になる場合があります。また、2年次編入学の場合は入学後3年間、3年次編入学の場合は入学後2年間で卒業できない場合があります。

入試日程

| 入試区分 | | 入学資格審査 申請期間 【締切日消印有効】 | 入学資格 審査結果 発表 | 出願期間 【締切日消印有効】 | 試験日 | 合格 発表日 | 入学手続 締切日 |
|-----------|---------|---------------------------------|--------------------|----------------------------|-------------|--------------|--------------------|
| 編入学 試験 | I期一般入試 | 10/2 2 | 11/22 (木) | 11/26 ~ 11/30 (月) ~ (金) | 12/8 (土) | 12/13 (木) | 2019 1/8 (火) |
| | I期推薦入試 | 10/26 (金) | | | | | |
| | II期一般入試 | 2019 1/7 ~ 1/11 (月) ~ (金) | 2/8 (金) | 2/19 ~ 2/26 (火) ~ (火) | 3/5 (火) | 3/12 (火) | 3/22 (金) |
| | II期推薦入試 | | | | | | |

試験時間・選考方法

○一般入試

| 学 科 | 選考方法 | 試 験 時 間 | 配 点 |
|---------------------------------------------|------|---------------------|------|
| メディア画像学科 生命環境化学科 コンピュータ応用学科 電子機械学科 | 筆記試験 | 10:00 ~ 11:20 (80分) | 100点 |
| | 面接 | 11:50 ~ (約20分/人) | 100点 |

※筆記試験：数学・英語

※面接：専門に関する口頭試問を含む。

| 学 科 | 選考方法 | 試 験 時 間 | 配 点 |
|--------------------------------|------|---------------------|------|
| 建 築 学 科 (出願時に ※A方式又はB方式を選択) | 筆記試験 | 10:00 ~ 11:20 (80分) | 100点 |
| | 面接 | 11:50 ~ (約20分/人) | 100点 |

※A方式：数学・英語

※B方式：数学・英語及び建築基礎専門科目

「建築構造」
「建築構法」
「建築環境・設備」
「建築材料・施工」
「建築計画」
「建築史」
「建築意匠」

の7分野から5問を出題、うち3問を選択して解答。

※面接：専門に関する口頭試問を含む。

○推薦入試

| 学 科 | 選考方法 | 試 験 時 間 | 配 点 |
|-----|------|------------------|------|
| 全学科 | 面接 | 10:00 ~ (約20分/人) | 100点 |

※面接：専門に関する口頭試問を含む。

試験場

東京工芸大学厚木キャンパス

入学資格審査

志願者は全員、「入学資格審査」を事前に受けていただきます。

入学資格審査を受けずに編入学試験の出願はできませんので、注意してください。

(1) 入学資格審査では以下のことを審査します。

- ① 編入学試験出願資格の確認
- ② 出身学校の既修得単位が本学において認定可能かどうかの確認
- ③ 編入学試験出願可能年次

審査結果は、入学資格審査結果発表日に書面で通知します。

(2) 入学資格審査のための提出書類

封筒の左下に、朱書きで「編入学試験入学資格審査書類在中」と明記し、提出期限までに、下記書類を簡易書留にて郵送してください。

(封筒の書式は自由ですが、書類等が破損することがないようにA4サイズの書類が入る「角2」程度の封筒を使用してください。)

- ① 履歴書（写真貼付／履歴書は市販のもので構いません。）
必ず右上に「出願学科」、「入試区分（一般又は推薦）」を記入してください。
また、建築学科に出願する場合は筆記試験の方式も記入してください。
- ② 最終学歴の卒業証明書又は卒業見込み証明書
学校に在学中の方は、在学証明書も提出してください。
- ③ 最終学歴の学業成績証明書
- ④ 最終学歴の教科概要（各授業の内容が記載されたもの シラバス等）
- ⑤ 現在、履修中の科目がある場合は、履修科目の一覧表（最終学歴在学中の方のみ提出してください。学業成績証明書に「履修中の科目」が記載されている場合は提出不要です。）
- ⑥ 推薦書（推薦入試のみ）
本学所定の用紙を使用し、在籍学校長が作成したもの。

出願に必要な書類

(1) 志願票

志願票は、コンピュータ処理するため、必ず黒のボールペンを使用し、かい書で丁寧に記入してください。

(2) 上半身脱帽、最近3カ月以内に撮影した顔写真(サイズ4cm×3cm)。

なお、写真の裏には必ず氏名を記入してください。

*入学後の学生証に使用します。

(3) 入学検定料振込依頼書「大学提出用」

銀行振込

本学所定の「入学検定料振込依頼書」を使用して振込みをしてください。振込依頼書は、「1.金融機関用」「2.大学提出用」「3.受験生控」の3枚綴りになっていますので、「2.大学提出用」のみを他の出願書類と同封してください。

※ATMで振込はできません。銀行窓口で振込み手続きを行ってください。

入学検定料

編入学試験：30,000円

※編入学試験Ⅰ期を受験し、編入学試験Ⅱ期を受験する場合、入学検定料は20,000円になります。

出願書類の提出と受験票の交付

(1) 提出先

住 所：〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583
東京工芸大学 工学部入試課
T E L： 046-242-9520

(2) 出願方法

該当する出願書類一式を本学所定の封筒に入れ、出願期間内に速達・簡易書留で郵送してください（締切日消印有効）。

(3) 受験票

出願書類の受付が済んだものから順次受験票を郵送します。受験票を受け取りましたら、必ず入試区分、出願学科、試験日、試験場を再度確認してください。試験当日は受験票を持参してください。

なお、願書提出が締切り日直前だった時など、受験票をご自宅に郵送すると試験日に間に合わない可能性がある場合、大学で受験票を保管し、試験当日に試験場でお渡しします（その時は電話で連絡します）。

志願票の記入について

| | | |
|--------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 志願者 | フリガナ | 氏名のフリガナを記入してください。 |
| | 氏名 | 大きくていねいに記入してください。(※JIS第2水準まで) |
| | ローマ字 | 留学生は、パスポートに記入されているとおりのローマ字で記入してください。 |
| | 性別 | いずれかに○印を付けてください。 |
| | 生年月日 | 西暦で生年月日を記入してください。 |
| | 住所 | 郵便番号や、アパート・マンション名称等も省略せず記入してください。 |
| | 電話番号 | 所持していれば携帯電話番号を記入してください。出願書類に不明な点がある場合に使用します。 |
| 学校名 | 大学や短期大学等所属する(していた)学校名を記入してください。 | |
| 学部・学科等 | 学部・学科や、コース等を記入してください。 | |
| 出願入試区分 | 出願する入試区分にいずれか1つ○印を付けてください。 | |
| 出願学科 | 出願する学科にいずれか1つ○印を付けてください。 | |
| 前回受験番号 | 本学の2019年度編入学試験Ⅰ期を受験している場合は、その時の受験番号を記入してください。 | |

※ 本学では、氏名の表記等に、JIS第2水準までの漢字を使用しております。合格通知書、入学許可書、学生証など、在学中に氏名を表記する交付物についてはすべてJIS第2水準までの漢字表記とします。外国人留学生の氏名表記は、すべてローマ字となります。

受験に関する注意

- (1) 試験時間中に机の上に置けるものは、受験票・HBの鉛筆（和歌、格言などが印刷されているものは不可）・シャープペンシル・プラスチック製消しゴム・小型鉛筆削り・時計（計算／辞書機能付き時計は不可）・眼鏡・ハンカチ・ティッシュペーパー・目薬です。
- (2) そろばん・電卓・定規（定規の機能を備えた鉛筆などを含む）・コンパスなどの補助具や、電子辞書・携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末・ICレコーダー等の電子機器類は試験中に使用できません。
- (3) 電子機器類（電子辞書・携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末・ICレコーダー等）は、試験室に入る前にアラーム等の設定を解除し、電源を切りかばん等にしまってください。
- (4) 試験当日は受験票を必ず持参し、着席後は机上の受験番号シールの横に置いてください。
- (5) 試験開始時刻の1時間前から、試験場への入場が可能です。試験開始15分前までには、必ず所定の座席に着席してください。
- (6) 遅刻した場合や受験票を忘れた場合は、入試本部の指示を受けてください。
- (7) 試験中は試験監督者の指示にしたがってください。
- (8) 昼食は各自で用意してください。
- (9) 身体に障がいがあり、受験上の特別な措置や入学後の特別な配慮を必要とする人は、出願前に入試課に相談してください。

合格発表から入学手続まで

(1) 合格発表

合格者には合格発表日に、合格通知書を郵送します。
(到着は合格発表日の翌日以降となります。)

(2) 学 費

① 納付金額

| 項目 | | 第1年次 | | 第2年次以降 | |
|--------|-------|------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 入学手続時 | 9月 (後期分) | 4月 (前期分) | 9月 (後期分) |
| 学費 | 入 学 金 | 200,000円 | — | — | — |
| | 授 業 料 | 460,000円 | 460,000円 | 460,000円 | 460,000円 |
| | 実験実習費 | 75,000円 | 75,000円 | 75,000円 | 75,000円 |
| | 施設設備費 | 125,000円 | 125,000円 | 125,000円 | 125,000円 |
| | 小 計 | 860,000円 | 660,000円 | 660,000円 | 660,000円 |
| 諸会費 | 学友会会費 | 7,000円 | — | 7,000円 | — |
| | 後援会会費 | 9,000円 | 9,000円 | 9,000円 | 9,000円 |
| | 同窓会会費 | 10,000円 | — | 10,000円 | — |
| | 小 計 | 26,000円 | 9,000円 | 26,000円 | 9,000円 |
| 合 計 | | 886,000円 | 669,000円 | 686,000円 | 669,000円 |
| 1年間の学費 | | 1,555,000円 | | 1,355,000円 | |

② 納入方法

入学手続書類の中の、所定の振込用紙を使用してください。銀行窓口で電信扱いで納入してください。納入の際は、「受験番号」が必要です。

ATM・インターネットバンキング等で納入することも可能です。

ATM・インターネットバンキング等で納入する際は、「振込人名義」を「受験番号 合格者本人の氏名」としてください。

※振込金受領書は各人で保管してください。

③ 納入期限

| 入 試 区 分 | 納 入 期 限 | 備 考 |
|---------|---------|---------------------|
| 編入学試験 | I 期 | 2019 年 1 月 8 日 (火) |
| | II 期 | 2019 年 3 月 22 日 (金) |

入学手続時に学費・諸会費を一括納入

厚木キャンパス試験場

＜東京工芸大学厚木キャンパス＞ 神奈川県厚木市飯山1583

小田急線「本厚木」駅バスセンター⑦番バス乗り場から、神奈川中央交通バス「東京工芸大学」行き終点下車
 詳細は、神奈川中央交通のHPで確認してください。



宿泊案内

本厚木駅周辺の宿泊施設です。宿泊ご希望の方は、直接問い合わせてください。

| 宿泊施設名 | 電話番号 | 所在地 |
|-------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| パークインホテル厚木 | 046-229-5300 | 厚木市泉町2-4 (本厚木駅南口から徒歩1分) http://www.parkinn-atsugi.jp |
| 厚木シティホテル | 046-223-1414 | 厚木市中町2-4-14 (本厚木駅北口から徒歩1分) http://www.atsugicityhotel.com |
| ホテル東海 | 046-224-8000 | 厚木市中町3-6-16 (本厚木駅北口から徒歩3分) http://www.hoteltohkai.co.jp |
| ホテルビスタ厚木 | 046-297-0888 | 厚木市中町3-12-5 (本厚木駅北口から徒歩3分) https://www.hotel-vista.jp/atsugi |
| 厚木アーバンホテル | 046-222-3344 | 厚木市中町3-14-14 (本厚木駅北口から徒歩5分) https://www.auhf.co.jp |
| レンブラントホテル厚木 | 046-221-0001 | 厚木市中町2-13-1 (本厚木駅北口から徒歩5分) https://rembrandt-group.com/atsugi |

入試結果について (2018年度)

【編入学試験 (I期・II期)】

| 学科 | 志願者数 | 合格者数 | 倍率 |
|------------|------|------|-----|
| メディア画像学科 | 0 | 0 | - |
| 生命環境化学科 | 1 | 1 | 1.0 |
| 建築学科 | 2 | 0 | - |
| コンピュータ応用学科 | 0 | 0 | - |
| 電子機械学科 | 0 | 0 | - |
| 合計 | 3 | 1 | 3.0 |

入学選抜によって取得した個人情報の取扱について

入学者選抜において、当大学が取得した個人情報は、以下の目的に利用します。

- (1)入学者選抜(出願処理・試験実施)
- (2)合格発表
- (3)入学手続
- (4)合格者・入学予定者を対象とした各種書類・案内等の送付
- (5)入学後の学籍管理等の業務
- (6)各種統計資料作成

その他の目的に使用することは一切ありません。

東京工芸大学 工学部

工学部入試課

〒243-0297 神奈川県厚木市飯山 1583 TEL. 046-242-9520(直通)



資料請求・詳細は

<http://www.t-kougei.ac.jp>